

平成 30 年度 理論政策更新研修テキスト執筆者募集

中小企業診断協会では、平成 30 年度理論政策更新研修のテキスト(次頁「募集テーマ」)の執筆者を、都道府県協会会員の皆様を対象に広く募集いたします。

中小企業診断士向けの研修テキストですので、執筆者はテーマに関する専門性、クライアント等への支援”力“を兼ね備えていることが前提で、目まぐるしく変化する経営環境に対応した、最新の専門的知識の補充に資する内容を期待しております。

なお、執筆者の選定にあたりましては、「テキスト執筆者選定委員会」にて別紙の各テーマにつき 1 点を選定いたしますが、同委員会にていずれのご提案もテキストとしての水準に達しないと判断した場合には、当該テーマのテキストは作成しない方針です。

会員の皆様からのご応募をお待ちしております。

【募集要領】

次頁の「募集テーマ」の中からテーマを 1 つ選び、下記の②記入項目に沿ってお書きいただき (word 形式)、試験・登録機関事業部 (rironkenshu@j-smeca.jp) までお送りください。

その際はファイルにパスワードをかけ、パスワードは別メールでお送りください。

- ① 応募資格 都道府県協会の会員(企業内診断士含む)
- ② 記入項目 記入要領・応募枚数は特に定めません。
 - 所属地区協会名 ○執筆テーマ名(内容は募集テーマが基本)
 - 名前 ○登録番号
 - 所属・役職 ○住所
 - 電話番号 ○略歴
 - 原稿の構成(目次等)、要旨(焦点を明確にしてください)、サブタイトル
 - テーマに関する指導実績、著書、寄稿、講演等(直近 5 年以内の実績)
 - テキスト作成上の工夫(視点:プロコンとしての実践的内容、掲載する支援事例、演習課題、テーマに関する時事キーワード等を明記してください)
- ③ 応募期限 平成 29 年 11 月 10 日(金)
受信後、確認メールを差し上げます。応募書類送信後 2 営業日を経過して確認メールが届かない場合には、協会にご連絡ください。
- ④ 選考結果 平成 29 年 12 月中旬に各応募者に選定結果を文書にて連絡します。選定された方には、所定の執筆要領に基づきテキストを執筆していただきます。
 - ・原稿枚数 A4 版 1,200 字(20 枚~30 枚程度)
 - ・執筆期限 平成 30 年 2 月 9 日(金)
- ⑤ 謝金 8 万円(消費税込) 選定された方にお支払いします。

【お問い合わせ先】

一般社団法人中小企業診断協会
試験・登録機関事業部 菊島・福地
電話 03-3563-0851
Email rironkenshu@j-smeca.jp

【募集テーマ】

テーマ	ねらい・内容
①中小企業のIT利活用支援	<p>中小企業にとって、人手不足の対応を前提とした省力化・合理化を進めるためにもITの利活用が重要である一方で、不正アクセス等の情報セキュリティトラブルは、情報の紛失等の直接的な損害のみならず、社会的信用を失うといった間接的な被害ももたらします。</p> <p>IT戦略構築・導入・運用などの支援や適切なセキュリティの確保について、事例等を交えて研修します。</p>
②起業・創業支援	<p>中小企業のライフサイクルの循環の中で、起業・創業により新規事業が立ち上がることは、生産性の向上にも大きな影響を与えると考えられていますが、起業希望者、準備者は減少傾向にあります。</p> <p>起業・創業時に大きな課題となる資金調達や人材確保支援をはじめとして、企業が成長していく各段階において、診断士がどのように関わっていくのか事例等を交えて研修します。</p>
③中小企業の事業承継支援	<p>経営者の高齢化が進み経営者交代に直面した時に、後継者不足等から廃業を選択せざるを得ない状況に陥ることは、それまで培ってきた経営資源の損失にもつながります。</p> <p>中小企業が事業の引き継ぎや事業承継を円滑に進め、企業が継続的に発展していくにはどのような支援が必要か、事例等を交えて研修します。</p>
④中小企業の新事業展開支援	<p>中小企業が市場と向き合い、効果的なマーケティング活動を実施し、研究開発や新技術の活用などにより新しいビジネスモデルを追求し、必要に応じて外部リソースも積極的に活用することで新事業展開を成功に導き、更なる成長を達成することが期待されています。</p> <p>中小企業の新事業展開を成功に導くためにはどのような支援が必要か、事例等を交えて研修します。</p>
⑤中小企業の人材確保・活用支援	<p>少子高齢化による生産年齢人口の減少に伴い、企業の人材獲得競争が激化していく中で、多様な人材を活用し、柔軟な働き方を整備することで定着を図り、外部人材も含めて人的資源を有効活用していくことが、生産性の向上や成長につながっていきます。</p> <p>中小企業が人材を確保し、また定着させていくための取り組みについてどのような支援が必要か、事例等を交えて研修します。</p>
⑥中小企業の知財戦略支援	<p>中小企業が研究開発等により得た技術力を、企業競争力に転換するための知財戦略が重要になっていく一方で、十分に経営資源を投入できない実態もあります。</p> <p>中小企業の実態にあわせた知的財産の戦略的活用支援について、事例等を交えて研修します。</p>